

企業価値向上に向けた取組み

NIPPON EXPRESSホールディングス株式会社

2024年 2月



「資本コストや株価を意識した経営の実現に向けた対応」

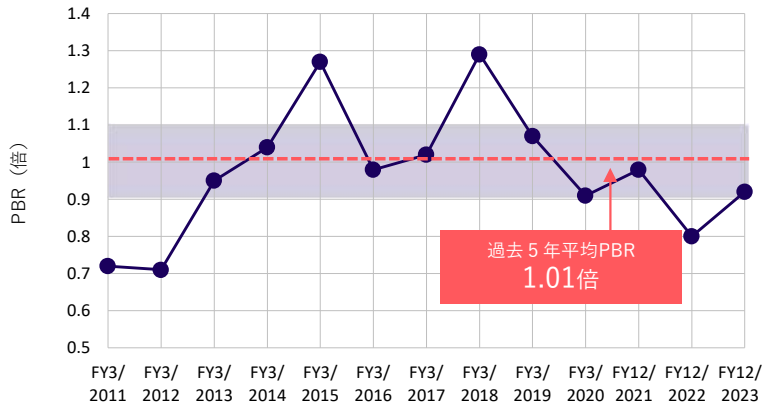
現状分析・評価

- PBR**
 - 過去5年平均のPBRは1倍程度であるが、安定して1倍を超える状況とはなっていない
- ROE**
 - 過去5年平均のROEは7.6%で、当社が認識する株主資本コスト8%程度を下回っている
 - 加えて直近の見通しROEが6.2%と低いことが、PBRを現水準にとどめている要因として認識している
- PER**
 - PBRの向上のためにはPERの向上も不可欠、現在のPERは業種平均水準（プライム市場・陸運業）であるものの、市場からの事業成長期待の余地があると認識している

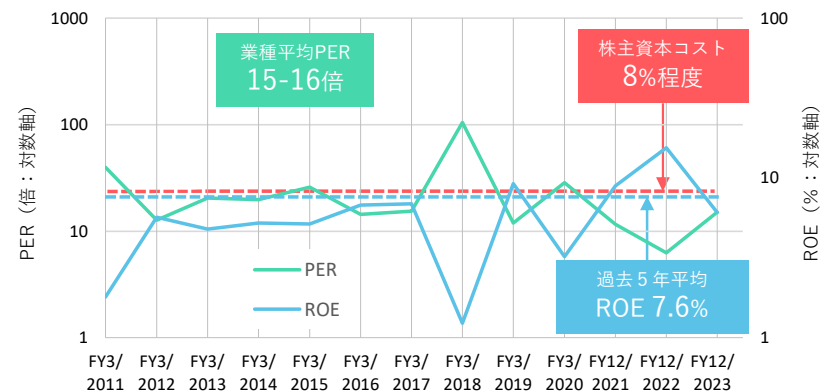
※FY12/2023
 ROEは2023年11月公表見通し数値
 PBR・PERは2024年2月2日時点の数値

	FY3/2011	FY3/2012	FY3/2013	FY3/2014	FY3/2015	FY3/2016	FY3/2017	FY3/2018	FY3/2019	FY3/2020	FY12/2021	FY12/2022	FY12/2023 ※
PBR (倍)	0.72	0.71	0.95	1.04	1.27	0.98	1.02	1.29	1.07	0.91	0.98	0.80	0.97
ROE (%)	1.80	5.68	4.79	5.22	5.14	6.77	6.89	1.23	9.19	3.21	8.9	15.5	6.2
PER (倍)	39.68	12.73	20.46	19.71	25.98	14.38	15.4	104.63	11.96	28.59	11.58	6.27	15.9

NXHD（日本通運） PBR推移



NXHD（日本通運） ROE・PER推移

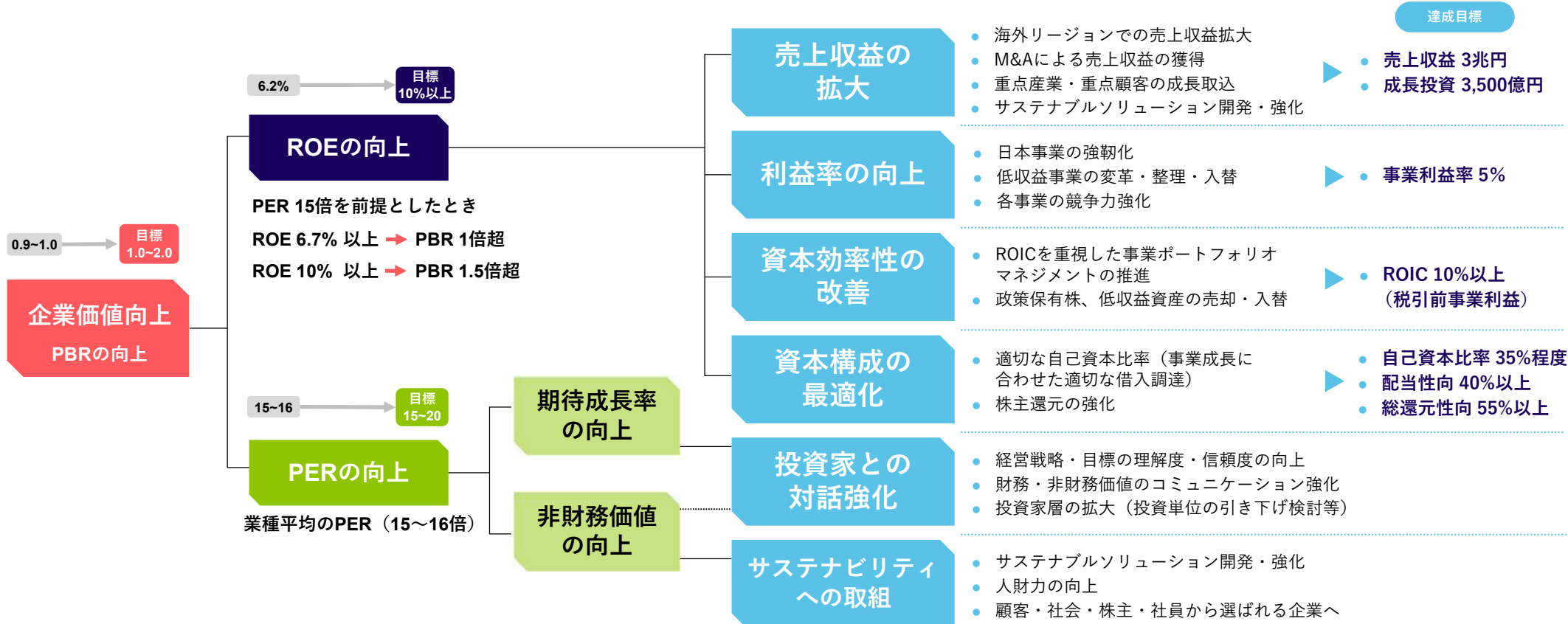


「資本コストや株価を意識した経営の実現に向けた対応」

企業価値向上（PBR向上）に向けた取組み

方針・目標

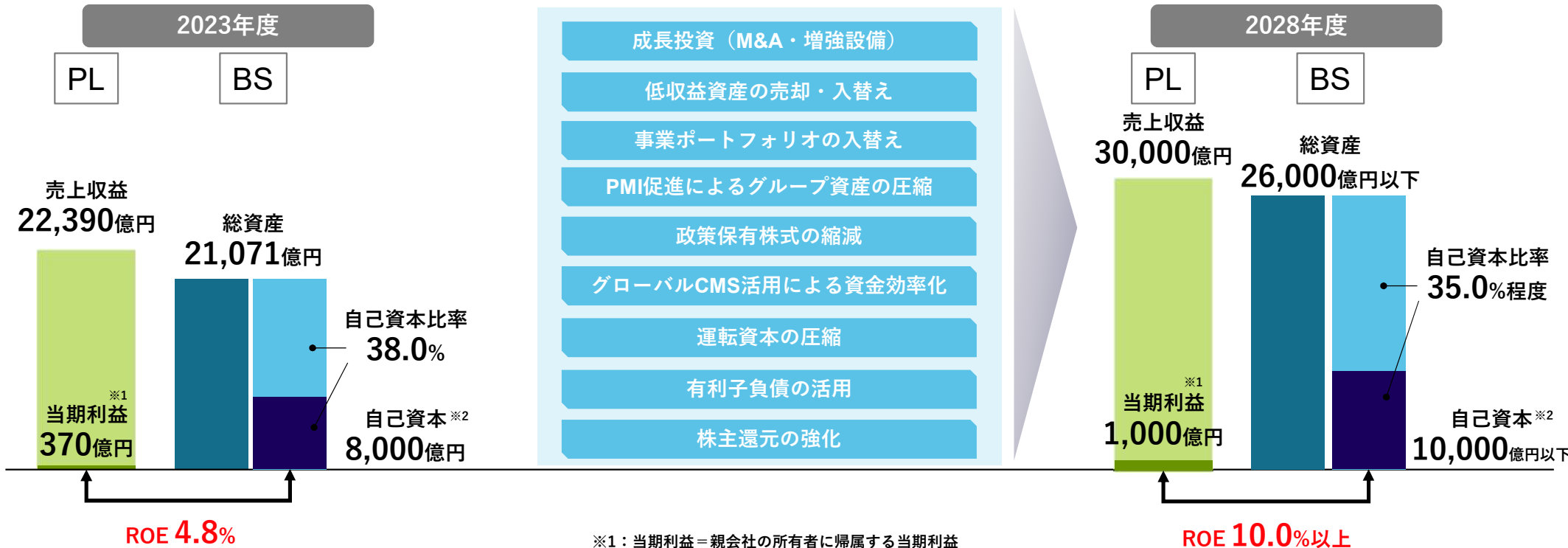
経営計画の取組みを着実に実行することで、資本コスト（8%程度）を上回る「ROEの向上」と「継続的・将来的な成長期待によるPERの向上」を実現し、中期的には経営計画で掲げているROE10%以上を達成する



「資本コストや株価を意識した経営の実現に向けた対応」

BSマネジメントの強化

- ・ 資本効率を意識した成長投資を行い、事業ポートフォリオの入れ替えや政策保有株式の縮減、低収益資産の売却などにより、バランスシートを肥大化させることなく、優良な資産を積み上げていくことで、収益力を向上する
- ・ 有利子負債の活用と株主還元強化による資本構成の最適化により、継続的なROEの向上を実現する

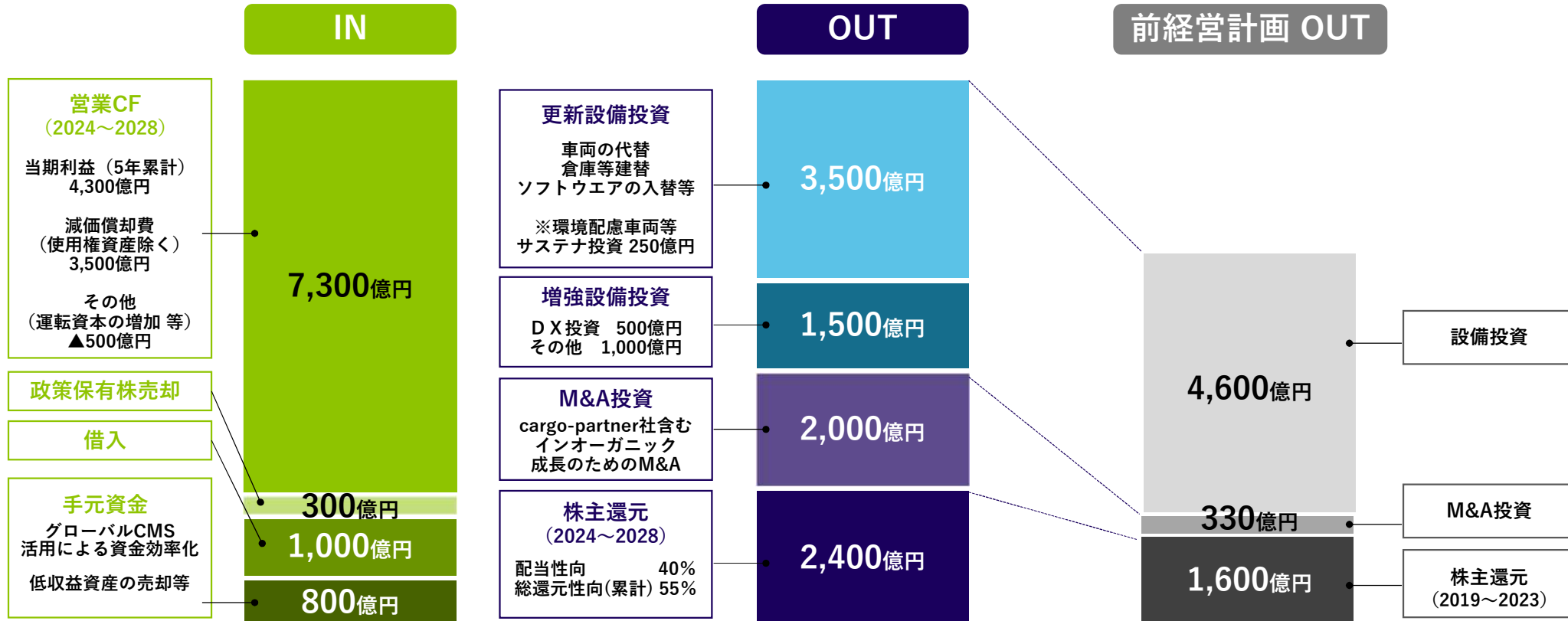


※1：当期利益＝親会社の所有者に帰属する当期利益
※2：自己資本＝親会社の所有者に帰属する持分合計

資本政策

キャッシュアロケーション (2024年~2028年累計)

事業活動で創出したキャッシュを主な原資として、更新投資、成長投資（増強設備、M&A投資）、株主還元に分けする



Copyright © 2024 NIPPON EXPRESS HOLDINGS. All rights reserved.

本頁に記載の将来数値は、現時点における目標値又は計画値であり、その実現を保障するものではなく、様々なリスクや不確定要素によって、実際の数値と大きく異なる可能性があります。弊社は今後の状況の変化等により当該情報を更新する義務を負うものではありません。

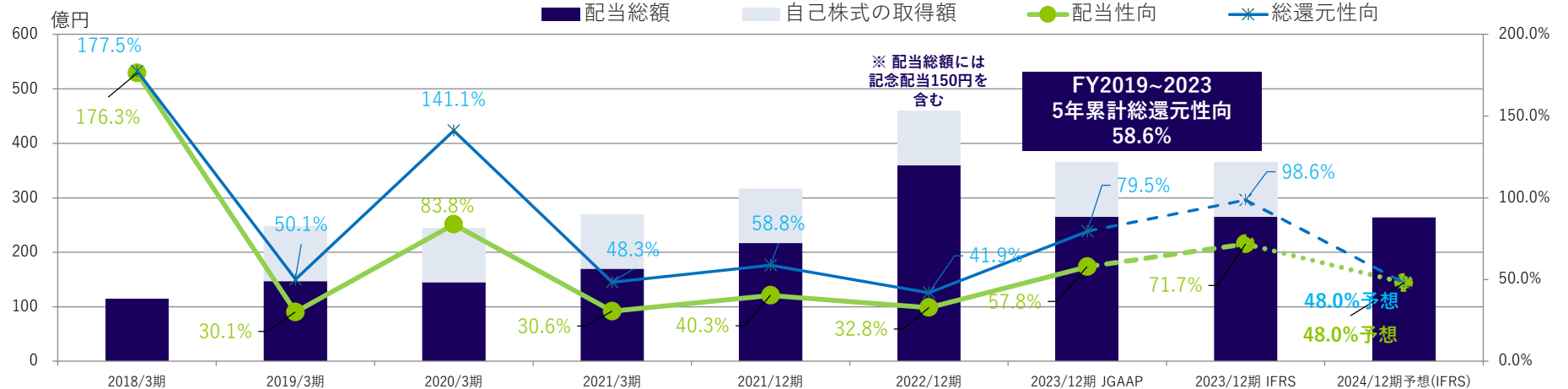
資本政策

配当・総還元性向、自己資本比率

配当性向、総還元性向の引き上げによる株主還元の強化
安定的かつ継続的な配当の実施

目標項目	経営計画2023目標	経営計画2028目標
配当性向	30.0%以上	40.0%以上
総還元性向（5カ年累計）	50.0%以上	55.0%以上
自己資本比率	35.0%程度	35.0%程度

各種実績推移



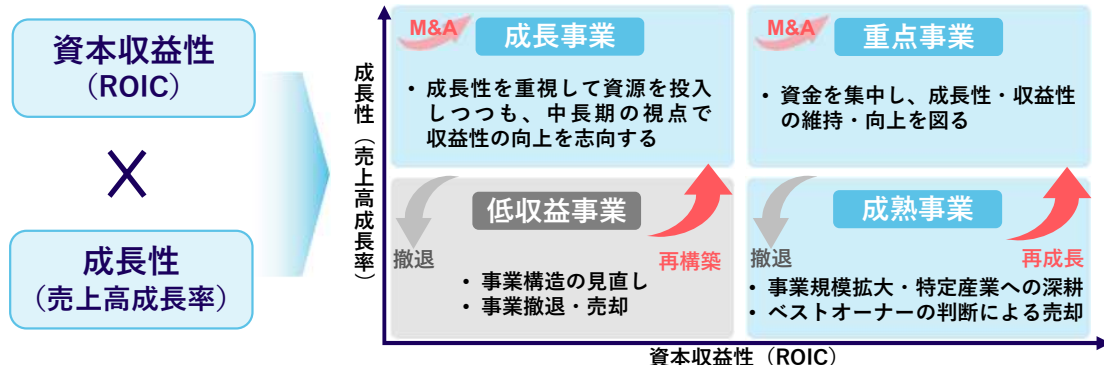
事業ポートフォリオマネジメントの推進

事業ポートフォリオに関する基本方針

基本方針

- NXグループ企業理念を拠り所に、長期ビジョン「グローバル市場で存在感を持つロジスティクスカンパニー」を定めており、企業理念と長期ビジョンに整合し、持続的な社会の発展を支える事業によって、事業ポートフォリオを構成します。
- グループの持続的な成長と中長期的な企業価値の向上を図るため、各事業を資本収益性と成長性、グループにおける位置付けとシナジー創出、今後の成長戦略等の基準に従って評価します。
- 事業ポートフォリオに関する基本方針並びに戦略とその実行については、事業ポートフォリオマネジメント実施体制に沿って、定期的に取り締役会で評価・検討・見直しを行います。

定量評価



定量的に各事業を分析・マッピングすることで事業の現在地、大枠の方向性を示す

定性評価

定量評価に以下の観点の評価を加え、NXグループの企業価値向上につながる戦略を検討する

- 企業理念、長期ビジョンとの整合
- 市場の傾向と競合動向
- 事業の成長性、強み・弱み
- グループ内での位置付け・機能・シナジー
- サステナビリティ、社会課題解決への貢献
- ベストオーナー観点

事業ポートフォリオマネジメントの推進

持続的な成長および企業価値向上のための事業ポートフォリオ戦略

- 各事業の現状を分析・評価し、企業理念との整合、長期ビジョン実現に向けた役割を明確化する
- 成長事業、重点事業への戦略的投資（資金）配分により、持続的な成長を図る
- 事業強化のための分社化、グループ内の事業・機能重複の整理を推進する
- 事業強化にあたってはM&A、資本提携や事業譲渡などの手法を活用する

セグメント別戦略の方向性

成長ドライバー

ロジスティクスー海外

積極的な投資とM&Aの活用によって成長を加速

売上拡大と中長期的な資本収益性の向上

売上・利益の基盤

ロジスティクスー日本

事業を再構築し、大幅に収益性を改善
ネットワーク事業についてはアライアンス強化

資本収益性を大幅に改善

警備輸送

分社化（2023年1月実施）による
専門性向上・収益性向上

資本収益性改善

重量品建設

専門性向上・規模拡大
分社化による事業強化検討

高資本収益性維持・売上拡大

物流サポート

競争力向上・収益性向上
セグメント内事業単位でのポートフォリオマネジメント推進

資本収益性改善

今後は各セグメント内を細分化した単位でのマネジメントを推進



本資料のいかなる情報も、弊社株式の購入や売却等を勧誘するものではありません。
また、本資料に記載された意見や予測等は資料作成時点での弊社の判断であり、その情報の正確性を保証するものではなく、今後、予告無しに変更されることがあります。万一、この情報に基づいて、こうむったいかなる損害についても、弊社及び情報提供者は一切責任を負いませんのでご承知おきください。